

第六十四回
帝國議會
貴族院

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和八年三月七日(火曜日)午後一時三十分開會

○委員長(男爵四條隆英君) ソレデハ前回

ニ引續キマシテ開會イタシマス、本日ハ造幣工場及其附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外五件ヲ議題ニ供シマス

○橋本辰二郎君 私ハ拓務大臣ニ拓務省ノ

御監督ノ下ニアリマスル滿鐵ノコトニ付キ

マシテ御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマスル、

申ス迄モナク滿鐵ナルモノハ日露戰役ノ結

果二十億圓ノ國帑ト、忠勇ナル十萬ノ同胞

ガ碧血ヲ注ギテ獲得シタル所ノ唯一ノモノ

デハナイガ、其主タルモノデアアルコトハ御

異議ガナイト思フ、而シテ滿鐵ノ使命ナル

モノハ國策樹立ノ方針ニ基キマシテ我方親

愛ナル同胞ノ芳魂ガ護國ノ鬼トナリテ長ヘ

ニ眠ル所ノ滿洲ノ平野デナケレバナラヌト

思ヒマス、是亦拓務大臣ノ御異議ノナイコ

トデアラウト思フ、又滿鐵ト致シマシテハ

滿洲ニ於ケル所ノ教導者トナリ、又指導者

トナッテ、我方國民ガ滿洲ニ進出スルニ際シ

テ有ラユル便宜ヲ供與シナケレバナラヌモ

ノデアアルト私ハ考ヘルノデアリマス、恐ラ

ク拓務大臣モ御同感デアラウト思フ、然ル

ニ往々ニシテ滿鐵ハ其使命ニ反スル態度ヲ見ルコトガ少カラヌノハ誠ニ遺憾ノ至リト

思フノデアリマス、滿洲ニ於キマシテ滿鐵

ノ執リマシタル是迄ノ行爲ニ付キマシテハ

之ヲ姑ク看過イタシマスルニ致シマシテ

モ、苟モ北ニ向フベキ使命ヲ持ッテ居ル所

ノ滿鐵ガ、其鋒先ヲ逆ニシマシテ、南ニ

向ッテ我方母國ノ同胞ニ挑戰スルト云フコ

トハ實ニ是ハ不都合ト思フノデアリマス、

而モ限リナキ國家ノ恩典ニ浴シ、日本一ノ大

資本ヲ包擁シ、其絶大ナル勢力ヲ以テ我方

同胞ニ對シテ盤石ノ累卵ヲ壓スル如キ勢ヲ

揮ッテ我方同胞ニ迫害ヲ加フルト云フコト

ハ斷ジテ是ハ默々ニ付スルコトハ出来ヌト

思フノデアリマス、其例ハ即チ滿鐵ノ分身

デアアル所ノ大連汽船ノ近來ノ横暴デアアル

デアリマス、去ル三日ノ東京日々新聞ニ

「大連汽船社ニモ登場、内地ノ各社ハ大恐

慌」ト云フ見出しデ報道セラレタルモノガ

アリマス、ソレハ今此處デ朗讀イタシマス

ガ、「外國船輸入計畫デ内地船舶界ヲ驚カ

シタ大連汽船ハ今春カラ日本海航路ニ進出

シテ、日滿連絡ノ最短「コース」ヲ經營スル

コトニナッタ、親會社ノ滿鐵ハ北鮮ノ大連

トシテ羅津築港ヲ急ギ、北滿ト日本内地ト

ハ羅津ヲ仲繼港ニ日本海湖水化ノ將來ハ最

モ期待スベク朝鮮郵船、近海郵船、大阪商

船、北日本、北陸、島谷ナド諸汽船ノ爭覇

ト敦賀、小濱、伏木、新潟、秋田ナド内地

各港灣ノ航路引込ミトハ甚ダシイ地方問題

サヘ惹起シテキル有様デアアルガ來ル五月カ

ラ大連汽船ハ雄基、羅津、清津ト新潟トヲ

結ブ一週一回定期航路ヲ開始スル筈デ、差

向キ五千噸級ノ長春丸ヲ天津上海航路カラ

抜イテ就役サセル方針デアアル」斯ウ云フ

コトガアリマス、ソレカラ今月四日ノ中

外商業ヲ見マスルト、「大連汽船ノ外國

船購入ニ反對、海運團體拓相ニ陳情」ト

云フコトガアリマス、是ハ既ニ陳情シタ

カドウカ分リマセヌガ、最近大連汽船ガ

外國船ヲ購入スルト云フコトニ對シマシ

テ日本ノ船主協會、造船聯合會、船舶改

善協會等ト云フ海運ノ代表者ガ斯ウ云フ

コトヲシテ貫ッテハ折角昨年議會ヲ通過シ

タ所ノ船舶改善案ニ逆行スルモノデアルト

云フコトデ、此コトハ阻止シテ貫ヒタイト

云フ希望デ陳情スルモノト見ラレルノデア

大連ト支那沿岸トノ航海ヲスルノガ其使命

デナケレバナライノニ、先程申シマシタ

ヤウニ屢、鋒ヲ逆シマニシテ、我方内國ノ

沿岸ヲ荒シマシテ運賃ノ崩落ヲ來タシ、サ

ウシテ内地ノ船主ヲ苦シメル、自分ノ會社

ハ是ガ爲ニ幾何ノ損失ヲ生ズルニモセヨ、

他ニ有利ナル補填ノ途ガアルカラシテ、此

大連汽船ニ於テハ何等痛痒ハ感ジナイト思

ヒマスルガ、内地海運業者ハ是ガ爲ニ非常

ナル迷惑ヲ蒙ルノデアリマス、確カ大正三

年頃デモアッタト思ヒマスルガ、大連汽船ハ

自社ノ貨物ハ自社船ニ依ラナケレバナラヌ

ト云フ三井物産ノ言フヤウナ口吻ニ倣ッテ、

澤山ノ船ヲ購入シタノデアリマス、而モ購

入シタ價格ト云フモノハ時價ニ比シテ非常

ナ高イモノデアッタト云フコトデ一部ノ物

議ヲ招イタノデアリマス、是等ハ滿鐵ヲ能

ク政黨ノ食物ニスルト云フヤウナ疑ヲ世人

ニ與ヘ、延イテ政黨ノ信用モ失墜スルノ基

ヲ開イタノデハナカラウト思フ、而シテ大

正三年ニ於テ自社ノ貨物ハ自社船ニ依ルト

言ッテ船舶ノ隻數ヲ多大ニ増加イタシマシ

タ結果トシテ如何デアアルカト言ヘバ、自分

ヲ來シテ、ソレ等ノ船ハ内地ニ廻シテ内地沿岸ノ運賃界ヲ荒シテ、サウシテ貨率ノ急激ナル崩落ヲ來タシタノデアリマス、例ヘバ北洋材ノ積取りニ百三十圓ノ相場ヲ維持シテ居ッタモノヲ大連汽船方は是ニ闖入シタ爲ニ、百圓ニ落チタトカ、九十圓ニ落チタトカ云フヤウナコトデ、多年不況ニ惱ンデ居リマシタ日本ノ海運關係者ハ是ガ爲ニ尙ホ一層ノ困難ヲ來タシタ事例ガアルノデアリマス、ソコデ又今回大連汽船ガ關東州ニ自己ノ特權ヲ利用シテ輸入スルト云フコトハ非常ニ我方海運業ニ脅威ヲ與ヘルノデアリマスルノデ、之ニ對シマシテ一通リ其外國船ノ輸入ヲ不可トスル理由ヲ少シク述べタイト思ヒマス、現在我國ニ於キマス總噸數、一千噸以上ノ汽船ハ昨年末ノ現在ニ於キマシテハ九百九十三隻、其總噸數ガ三百八十八萬噸アリマス、之ヲ貨物重量噸數ニ換算イタシマスルト五百八十二萬噸トナルノデアリマス、其内七十九隻、重量噸數約四十六萬八千噸ト云フモノハ關東州在籍ノ船デアリマス、即チ約八分ヲ關東州ニ於テ保有シテ居ルノデアリマシテ、其内最モソレハ四十二隻、總噸數デ十三萬八千噸ト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ其大

半ハ船舶法第三條ノ禁止條項ノ例外規定ニ依リマシテ、特ニ遞信大臣ノ特許ヲ得マシテ内地開港場竝ニ東洋各港間ノ沿岸貿易ニ從事シテ居リマス、寧ロ主トシテ内地沿岸ヲ中心ニ航海ヲ營ンデ居ルト云フ現狀デアルノデアリマス、是ガ爲ニ内地ノ運賃ヲ崩シ、我方海運界ニ與フル脅威ト云フモノハ誠ニ大ナルモノガアルノデアリマス、然ルニ一昨年滿洲事件勃發ニ端ヲ發シマシテ、爾來滿洲國獨立ノ基礎定マルニ至リマシテ、同國輸出ノ大宗デアアル所ノ大豆、豆粕ノ產出ガ逐年増加ノ趨勢ニアルニ鑑ミマシテ、特ニ歐洲向大豆ノ輸送權獲得ヲ理由ト致シマシテ、同地方關係官民竝ニ是ト緊密ナル利益ヲ有スル者ノ中ニ、本邦船舶、就中關東州在籍船ノ船舶増加ヲ頻リニ提唱スル者ガ出デ來ッタノデアリマス、大連歐洲間大豆輸送ニ要スル船舶ニ付キマシテハ、本邦ノ現有船舶ヲ以テ十分ナル自給ノ出來ルコトガ明カデ、毫モ外國船ノ購入ヲ俟ツノ必要ヲ認メナイノデアリマス、延イテ歐洲向大豆輸送ノ權ヲ本邦人ガ獲得セムト致シマスル結果ハ、滿洲國家ガ其建國ニ當リマシテ中外ニ宣明シタル所ノ各國機會均等主義ノ國是ニ背馳スルハ勿論、通商條約ニ依ル各國船舶待遇ノ平等權ヲ無視スル

コトニナリマシテ、他國ヨリモ亦同種ノ報復ヲ本邦船ニ受ケルト云フコトハ覺悟シナケレバナリマセヌ、現今海外ニ雄飛シテ居ル我が船舶ガ其報復ヲ受ケマスルト云フコトニナリマスレバ、其結果ハ實ニ慘澹タルモノガアラウト思ヒマス、大連汽船ハ法規上外國船舶ヲ購入スルノ或種ノ權利ヲ利用イタシマシテ、何等他ノ海運業者ノ迷惑ニナルコトヲ顧ミズシテ大連ヨリ輸出ニ掛カル所ノ貨物ハ悉ク關東州在籍船ガ輸送ノ任ニ當ラナケレバナラヌカノヤウニ主張イタシマシテ、茲ニ外國船舶輸入必要ナリトノ聲ヲ大ニシテ、曩ニ既ニ英國船六隻ノ購入ヲ決行シテ、過日回航員ヲ出發セシメタト云フコトヲ聞イテ居リマス、然ルニ最近ニ至ッテ更ニ七隻ノ買付ケガ成立シタト云フコトヲ、同社ノ社員ノ或ル者ハ言明シタト云フコトデアリマス、右ハ從來同社船ガ我が近海ニ跳梁イタシマシテ、内地ノ海運市場ヲ擾亂スル事例ニ徴シマシテモ、以上ノ新事業ハ艦内外船主ノ怨恨ヲ買ヒマシテ、延イテ本邦船舶ノ對外經營ニ好マシカラザル影響ヲ招來スルノ導火線ヲ造ルコトハ疑ヒナイコトト思フノデアリマス、昨年秋以來、我方海運界ハ稍、好轉イタシマシテ、茲ニ聊カ活況ヲ呈スルニ至リマシタノ

ハ、畢竟爲替相場ノ低落ノ關係ト、ソレト大型船ガ準時遠洋ニ出向キマシタ結果ト致シマシテ、沿岸貿易船ノ船腹ガ減少シタ所ノ結果ニ過ギナイノデアリマス、然ルニ近時内外市場共ニ一時ノ盛況ヲ失ヒマシテ既ニ衰退ニ傾イテ居リマス大連、歐洲間ノ運賃ナルモノハ、大豆ガ三十志デアッタガ、今日ハ既ニ二十志ニ激落イタシテ居リマス、今後尙ホ落潮ヲ迎ルト云フ實情ニアリマシテ、此際外國船舶輸入提唱者ノ謂フ所ノ外國行ノ採算ト云フモノハ結局不引合ニ陥ルト云フコトハ是ハ疑ハレナイノデアリマス、是等ノ輸入船ニシテ歐洲航路ガ不引合ニナリマシテ、採算ガ取レナイト云フコトニナリマシタラバ、必ヤ是ハ内地ノ近海方面ニ鋒先ヲ向ケマシテ、既ニ大連汽船ガ我が内地沿岸ノ市場ヲ侵蝕シテ、サウシテ運賃界ヲ擾亂セシメタ上ニ尙且此舉ニ依リマシテ、内地船主ノ迷惑ヲ過重スル惡結果ヲ齎スト云フコトノ外、何等益スル所ハナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ事情ニアリマス際ニ滿鐵ノ監督ノ任ニ居ラレマス所ノ拓務大臣ハ之ヲ阻止セラレルコトガ當然ノ私ハ任務デハナカラウカト思フノデアリマス、ノミナラズ昨年議會ヲ通過イタシマシタ所ノ船舶助成案ナルモノハ、老朽不經濟

船ヲ淘汰シテ優秀ナル最新式ノ汽船ヲ建造シテ、我が海運界ノ整備改善ヲ爲スガ目的デアッタノデ、是ガ爲ニ國庫ヨリ一千萬圓ト云フ巨費ヲ支出スルコトニナッタノデアリマス、故ニ此目的ニ反スル所ノ古船ヲ更ニ外國ヨリ輸入スルト云フコトハ、此法律ノ立法ノ精神ニ反スルモノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、當時此案ニ付キマシテハ拓務大臣ハ國務大臣トシテ之ニ贊成セラレタルコトヲ疑ハナイノデアリマス、サスレバ此船舶改善ニ付キマシテハ逡信當局ト共ニ協力セラルルノガ當然デアルト思フノデアリマスガ、然ルニモ拘ハリマセズ大連汽船ガ恣ニ外國船ヲ輸入スルト云フコトヲ認容セラレルト云フコトハ私等ハ其意思ノアル所ヲ了解スルニ苦シムノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ拓務大臣ハドウ云フ御意見ヲ御持チニナッテ居リマスルカ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今橋本サン

カラ滿鐵ノ經營ノ方針ニ付テ御質問ガアリマシテ、殊ニ船舶ノ問題ニ付テ詳細ナル御意見ヲ承リマシタ、橋本サンノ只今御話ニナリマシタト略、同様ノ意見ガ一部ノ海運業者ノ間ニ於テモ行ハレテ居ルコトヲ承知致シテ居リマシテ、我國ニ於テ只今御話ニ

ナリマシタヤウナ心配ヲシテ居ル人ガアルト云フコトハ能ク承知イタシタノデゴザイマス、第一ニ申上ゲタイコトハ滿鐵ガ單ナル營利會社デナク、國家的使命ヲ擔ウテ居ル特殊會社デアアルニ拘ラズ、動モスレバ鋒ヲ逆シマニシテ日本ノ内地ニ於ケル生活ヲ脅威スルヤウナ態度ガアルト云フコトデゴザイマシタガ、其點ニ付キマシテハ多少誤解モアルカト思ヒマス、滿鐵ノ事業ガ動モスレバ内地ニ於ケル事業ト利害ノ衝突ヲ惹起ス危險ガアルト云フコトハ私共認メテ居ルノデアリマス、例ヘバ石炭ニ付テ申セバ滿鐵ノ生産スル石炭ト内地ニ於ケル石炭トノ間ニ競争ガ行ハルルコトニナレバ雙方ヲ傷ケルト云フ危險ガアル、其他ノ産業ニ於キマシテモ不法ヲ競争ガ行ハルレバ相互ヲ傷ケル危險ガアルト云フコトハ十分ニ承知シテ居リマスガ、今日ハ滿鐵自身モ其國家の使命ニ顧ミマシテ、出來ルダケ國家的統制ニ盡シ、出來ルダケ相互扶助ノ關係ニ立タウト云フ努力ヲシテ居ルコトハ是ハ十分認メナケレバナラヌト思ヒマス、現ニ石炭ノ問題ニ付キマシテモ、滿鐵ト内地ノ石炭生産者トノ間ニ於キマシテ隔意ナキ協議ヲ遂ゲマシテ數量ノ統制ヲ共ニ行ヒ、又價格ノ統制ヲモ共ニ行ハムトスル協議ガ進行

シテ居ルト云フ状態デアリマス、又内地ノ農村ガ肥料ノ缺乏、硫安ノ騰貴ノ爲ニ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ルヤウナ事態ニ鑑ミマシテ、滿鐵自身ハ出來ルダケ廉價ニ特殊な生産方法ニ依ッテ低廉ナル硫安、低廉ナル肥料ヲ供給シテ内地ノ農村ノ要求ニ應ジタイト云フヤウナ風ニ滿鐵ハ國家的使命ヲ顧ミマシテ、出來ルダケ其使命ニ殉ゼムトスル努力ヲシテ居ル點ハ十分之ヲ認メナケレバナラマイト思ヒマス、是ガ故意ニ國家ノ保護ヲ頼ンデ、鋒ヲ逆シマニシテ、内地ニ迫ルモノデアルト云フヤウナ御見解ハ其間多少ノ誤解モアルト存ジマス、其處デ政府ト致シマシテハ大體此内地ト……日本ト滿洲トノ關係ハ相互扶助ノ經濟關係ヲ確立セシメタイト云フ方針デ、之ヲ統制スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、滿鐵ガ各種ノ産業ノ經營ヲ致シマス上ニ於キマシテモ其方針ニ悖ルモノガアリマスレバ、出來ルダケ之ヲ統制スルト云フコトニ致シテ居リマス、例ヘバ滿鐵ト關係ノアル大連汽船ガ内地ノ海運業者ヲ脅威スルト云フヤウナコトニ付キマシテモ、若シ是ガ内地ノ沿岸貿易ヲモ大連汽船ガ行フト云フヤウナコトヲシヤウトスレバ無論之ヲ取締ルト云フコトハ當然ナコトダラウト考ヘマス、又只今朝

鮮ト内地トノ航路ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ自由航路ニナッテ居ルノデアリマシテ、或ハサウ云フ計畫ガ立ッテ居ルノカモ存ジマセヌガ、ソレハ私ハ今初メテ承ハリマス、若シ内地ノ海運業者ト滿洲ノ海運業者トノ間ニ過度ノ競争ガ行ハレマシテ、相互ヲ傷ツケルト云フヤウナコトガアリマスレバ、無論國家トシテハ之ヲ統制イタシマシテ、雙方ノ利益ヲ保護スルト云フコトニ努力シナケレバナラヌコトハ當然ダト考ヘテ居リマス、ソレカラ此最後ニ大連ノ方デ新シイ船ヲ買入レルト云フコトガ、是ガ昨年ノ船舶補助法ノ精神ト矛盾スルデハナイカト云フ御話デアリマシタ、又サウ云フヤウナコトヲ唱ヘテ居ル一部ノ海運業者ニアルヤウニ承知シテ居リマス、去年ノ臨時議會デ制定サレマシタ船舶補助法ノ精神ハ私モ能ク了解ヲシ、又日本ノ船舶ヲ優秀化スルト云フコトニハ決シテ異議ハアリマセヌ、併ナガラ去年ノ船舶ノ助成法ノ議會ニ出マシタ當時ハ隨分此日本ノ海運業ガアノ當時ハマダ振ハズ、各地ニ繫船ノ非常ニ多カッタ場合デアッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、其後只今橋本サン御自身ノ御話ニナリマシタヤウニ、爲替關係其他ノコトデ、日本ノ船舶ガ比較的動キ出シテ參リマシ

タ、非常ニ古イ船ハ別ト致シマシテ、相當活動ニ堪ヘルモノハ可ナリ各地ニ活動ヲ始メテ参リマシタ、又活動ヲ始メナケレバナラナイ位ナ需要ガ起テ参ッタノデアリマス、其時ニ老朽シタ船ヲ改築シテ優秀船ヲ造ルト云フコトハ是ハ結構ダト思ヒマス、私共モソレハ同感デアリマスケレドモ、只今日本ノ船舶ガ各地ニ於テ需用サレ、又日本ノ船舶ガ活動シマスレバ利益ヲ收メ得ル場合、其活動ヲ濫リニ制限スルト云フコトハ是非常ニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、殊ニ滿洲ノ方ノ關係ハ橋本サンノ御承知ノ通り最近ノ日滿兩國議定書ノ精神ニ依リマシテ、日本ハ滿洲國ニ對シマシテハ國防上ノ義務モ負ウテ居リマス、殊ニ國際關係ガ非常ニ緊張シテ参リマシタ關係カラ國防上ノ必要ト云フヤウナ點モ考慮シナケレバナリマセヌ、又滿洲カラ出ル生産物、殊ニ大豆ノ如キモノハ外國船ニ依テ運送セラレテ居ッタヤウナモノハ、是ハ出來ルダケ日本船ニ代ラシムルト云フヤウナコトハ是ハ寧ろ歓迎スベキコトデアアルト云フヤウニ考ヘマス、ソコデ大連ノ方面ニ於キマシテ國防上、産業上其必要ヲ認メテ外國船ヲ買入レルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、内地ノソレト相互ニ傷クルガ如キ危険ナキ場合ニ於

テハ之ヲ許スト云フコトハ寧ろ當然ダト思ヒマス、殊ニ御承知ノ通り一方デ古イ老朽船ハ段々毀シテサウシテ優秀船ヲ造ルト云フコトニナツテ來マスレバ海員ノ失業者ト云フモノハ尠カラズ出テ参リマス、ソレ等ノ海員ノ失業者ヲ出來ルダケ緩和シテ彼等ニ職業ヲ與ヘル爲カラ言ヒマシテモ、國防上、貿易上外國カラ船ヲ買入レル必要ガアル場合ニ於テハ買入レサシテ、同時ニ又社會政策上ノ要求モ充タサセルト云フコトハ決シテ私ハ無理ナコトデハナイト考ヘマス、ソレガ非常ニ度ヲ越エテ、相互ノ利益ヲ傷クル場合ニハ固ヨリ國家ガ之ヲ統制シナケレバナリマセヌケレドモ、絶對ニ此場合ニ於テ外國船ノ買入ヲ禁止スルト云フガ如キコトハ是非常ニ考ヘモノデハナイカト思ウテ居リマス、是等ノ點ニ付キマシテハ只今申シマシタヤウナ國防上、産業上、社會政策上ノ意味ガアルノデアリマスカラ、是ハ關係各省トモ協議ヲ致シマシテ、其關係各省ニ於テモ其程度ノコトハ何レモ必要モ認メテ居リ、又滿洲ニ於テ滿洲ノ國防、産業ニ付テ責任ヲ持ッテ居ル機關ニ於テモ其必要ヲ認メテ居ル所デアッテ相當各方面ト協議ヲ遂ゲマシテ、或程度ニ之ヲ許スト云フコトハ今日ノ國策トシテハ寧

ろ當然ナコトデハナイカト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ先程申上ゲマシタヤウニ内地ト滿洲トハ相互扶助ノ經濟關係ヲ作ルト云フコトガ根本ノ精神デアリマスカラ、若シモ何レカノ方面ニ於キマシテ過度ノ競争ヲ試ミテ雙方ヲ傷クルガ如キ過チヲスル場合ガアルトシマスレバ、ソレハ國家トシテハ十分大局カラ之ヲ統制シテ行クト云フコトハ勿論考ヘテ居ル次第デゴザイマス

(橋本辰二郎君發言ノ許可ヲ求ム)

○委員長(男爵四條隆英君) 橋本委員ニチヨット……發言ヲ妨ゲル意味デハゴザイマセヌガ、成ルベク付託議案ノ範圍外ニ互ラヌヤウニ御注意ヲ願フテ置キタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 只今御答辯ハ拜承イタシマシタガ、若シモ滿鐵ガ拓務大臣ノ御話ノヤウニ國家的使命ニ鑑ミ、相互扶助ト云フコトニ願慮イタシマシタナラバ、今回ノ大連汽船ノヤル如キコトハ、恐ラク私ハ出來ナイコトデアラウト思フノデアリマス、拓務大臣ハ新シキ船ヲ輸入シテ船腹ノ不足ヲ補フト云フコトハ是ハ決シテ惡イコトデハナイ、又滿洲國ニ對シテ國防上攻守同盟ノ條約ヲ締結シテ居ル關係上カラ見テモ、是

ハ勢ヒ斯ウ云フヤウナコトハ已ムヲ得ズトノ御話デアリマスルガ、今回大連汽船ガ輸入スル船ハ決シテ新シキ船デハナイノデアリマス、此コトニ付キマシテハ遞信大臣モ或場所ニ於テ言ハレタト云フコトハアリマスルガ、此大連汽船ノ今ヤ輸入セムトスル所ノ船ハ、歐洲戰役中竝ニ其直後ニ於キマシテ建造シタル所ノ粗製濫造船デアリマシテ、是ハ英國ニ於キマシテ經濟的ニ運用ノ出來ナイ爲ニ繫船シタ所ノ船デアアルノデアリマス、斯ノ如キ船ヲ輸入イタシマシテ國防上ノ必要ニ充テルト云フコトハ是ハ到底期待シ難イコトデアアルノデアリマス、又滿洲ノ特産品ヲ日本船舶ニテ運搬スルノハ歡迎スベキコトデアアルト云フコトデアリマスカラ、是ハ私等モ異議ハナイノデアリマスカレドモ、實際ニ於キマシテ滿洲ノ大豆ノ賣買ト云フモノハ主トシテ倫敦ニ於テ行ハレテ、其六割ト云フモノハ外國人ノ商賣ニ掛カルノデアリマス、而シテ其運賃ナルモノモ亦倫敦ニ於テ取極メラレルノデアリマシテ、日本船ノミガ之ヲ獨占スルト云フコトハ到底出來ナイノデアリマス、又是マデ外國船ハ東洋ニ貨物ヲ運ビマシテ其復航ニ空船トシテ本國ニ歸ヘルヨリモ、「バラスト」代リニ安イ運賃デモ厭ハズシテ、此特産品

ヲ積載シテ輸送ノ任ニ當ルト云フコトヲ是
マデ執テ來テ居タノデアリマス、ソレガ爲
ニ本邦汽船ハ是等ノ「バラスト」代リノ安イ
運賃ヲ以テ甘ンズル所ノ船舶ト拮抗スルコ
トガ出來ナイ爲ニ指ヲ銜ヘテ外國船ノ跳梁
ニ一任イタシテ居タノデアリマスルガ、昨
年秋以來爲替ノ暴落ニ乘ジマシテ本邦線ガ
茲ニ割込ミマシテ、今日ニテハ大部分本邦
船ニ依テ輸送セラルルト云フコトニナッテ
居ルノデアリマスルガ、爲替モ何時迄モ今
ノ好イ状態ヲ持續スルト云フコトハ期待シ
難イ、現ニ米國ノ金融恐慌ニ依リマシテ日
本ノ爲替モ漸次騰貴スルノ傾向ガアリマシ
テ、再ビ昨秋ノ如キ好イ運命ニ巡リ遇フ
ト云フコトハ到底期待シ難イコトデアリ
マス、サスレバ採算上歐洲向ケガ不能ナリ
トスレバ、是等ノ大連汽船ガ今回輸入セム
トスル船舶ト云フモノハ必ヤ内地ニ向ケ
テ、内地沿岸ヲ荒スト云フコトハ私ハ疑ヒ
ハナイト思フノデアリマス、又船舶ヲ殖ヤ
セバ海員ガ就職ガ出來ルト云フヤウナ御話
ハ、是ハモウ古イ話デアリマシテ、即チ助
成案當時ニ於キマシテ、海員ト其改造ノ衝
ニ當リマスル所ノ船主協會トノ間ノ協定ガ
出來テ居ルノデアリマシテ、更ニ古船ヲ輸
入シテ其就職ノ途ヲ開クト云フ必要ハ今日

ニ於テハ存在シテ居ラナイ事情デアリマス、
ソレデ如何ナル點ヨリ見マシテモ、大連汽
船ガ茲ニ外國船ヲ輸入シテ、サウシテ此船
腹過剩ガ將ニ來ラムトスル海運界ノ狀況
ノ下ニ於テ、尙ホ一層船腹ノ過剩ヲ來スヤ
ウナコトハ是ハ當然避クベキコトデアルト
思フノデアリマス、之ヲ御許シニナルト云
フ御考デアレバ、或ル權力ノ下ニ於テヤラ
ルルコトデアッテ、強ヒテ我ミガ反對ヲシタ
所デ何等ノ效ノナイコトデアリマスガ、拓
務省ニ於テハ雙互扶助協調ノ見地ヨリ今回
大連汽船ガ輸入スル所ノ外國船ハ、將來内
地ノ沿岸ヲ荒スガ如キコトハ絶對ニ禁止ス
ルト云フ御考デアリマスガ、其點ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 橋本サンノ御
尋ノ御趣旨ハ一應御尤モデアリマシテ、御
心配ノ點モ十分ニ洞察スルノデアリマスガ、
御承知ノ通りニ滿洲ノ生産物ハ、大體ニ於
テ一年百八十萬噸程ニナルト思ヒマス、其
運搬ニ對シマシテ歐米……歐羅巴ニ輸送サ
レマスノハソレ位ナモノニナルト思フノデ
アリマスガ、ソレニ對シマシテ大體約百八
十萬噸程ノ船腹ヲ要スル次第デゴザイマス、
所ガ百八十萬噸程ノ船腹ヲ要シマスガ、其
大部分ト云フモノハ、現在ハドウ云フ状態

カト言ヘバ、外國船デアリマス、日本船デ
運バルルモノハ其中僅ニ一割五分乃至好イ
時デモ先ヅ二割五分デアリマス、一割五分
乃至二割五分デアリマス、残りハ諸國、英
國、其他ノ船デ運バレテ居リマス、サウ云
フヤウナ状態デアリマスカラ、之ヲ先程橋
本サンモ御話ノヤウニ、何モ全部日本船デ
獨占シナクテモ宜イデヤナイカト云フ御意
見モアリマシタガ、ソレモ御尤モデアリマ
スガ、又其大部分ヲ外國船ニ獨占サレテ居
ルト云フコトハ遺憾ナコトデアリ、又非常
ノ場合ニ對シテハ危險ヲ感ズルコトモ多イ
ノデアリマス、ソコデ幸ニ今日爲替關係ガ
比較的有利ニナッテ參リマシテ、日本船ノ活
動ガ非常ニ自由ニナッテ來タノデアリマス
カラ、斯ウ云フ場合ニ外國船ニ代テ日本船
ノ活動スル機會ヲ出來ルダケ擴張シタイ、
サウ云フヤウナ風ニ考ヘマシテ或程度マデ
ハ外國船ノ購入ハ認メナケレバナルマイ、
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此船モデ
ス、非常ナ古イ船ヲ買ヒマスレバ、ソレハ
無意義ナコトデアリマスケレドモ、今日買
テ居リマスノハ、大抵船齡ハ十二三年ノ
所謂中古デアッテ、マダ十二三年ノ生命ハ十
分ニアル船デアリマス、ソレカラ古イ船ヲ
潰シテ新シイ船ヲ拵ヘマスト云フ場合ニ、
大連ノ船ハ……大連ノ海運業者ハ内地ノソ
レト同ジヤウニ、船舶助成法ノ恩惠ヲ受ケ
ルコトハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ彼
等ハ出來ルダケ中古ノ船デ堅牢ナモノヲ買
求メテ、ソレデ出來ルダケ活躍シヤウ、斯
ウ云フ風ニナッテ來ルコトモ是ハ或程度マ
デ諒察シナケレバナラヌト思ヒマス、殊ニ
滿洲ニ對スル豫防上其他ノ點ヲ考慮イタシ
マスト、ソレハ強チニ抑壓スルコトハ私ハ
出來ヌト思ヒマス、併ナガラ其船ヲ内地ノ
沿岸貿易ナドノ方ニ向ケテ來ルト云フコト
ニナレバ、是ハ政府トシテ十分取締テ貫
ハナケレバナリマセヌ、併シ目的ハサウ云
フコトデナイノデ、モット大キナ見地ニ立ッ
テ船ノ買入ヲ必要トシテ居ルノデアリマス
カラ、ソレハ十分政府トシテモ監視ヲシツ
ツ必要ナル程度ニ許可スルト云フ方針デア
リマスカラ、其點ハ御安心ヲ下サッテ宜イ
ノデハナイカト思ヒマス

○橋本辰二郎君 只今ノ船腹其他ノ關係ニ
付テノ御考ハ大分違ッテ居ルヤウニ思ヒマ
ス、今度輸入シヤウト云フ船ハ千九百十九
年ニ建造サレタ船ガ大部分ヲ占メテ居リマ
シテ、是ハ既ニ遞信大臣ノ裏書サレタヤウ
ニ、戰時中竝ニ戰後ニ於ケル所ノ粗製濫造
船デアッテ、即チ先程私ノ申シタヤウニ運送ニ

堪ヘズシテ繋船シテ居ル所ノ船デアリマシテ、是等ノ不經濟且ツ速力ノ九湮カ十湮位ノ船ヲ以テ國防上ノ必要ニ充テルト云フコトハ、是ハ實ニオカシイコトト思ハレルノデス、ソレデ國防上ノ必要ヨリ考ヘマスレバ即チ船足ノ早イ優秀船デナケレバ實際ニ於テ殆ド役ニ立タナイノデアリマス、現在日本ニ於キマシテハ船腹ハ非常ニ過剰イタシテ居リマシテ、今尙ホ其繋船ガ二十萬噸以上ニモ上テテ居ルヤウナ有様デアリマス、ソレニ尙且斯ノ如キ粗製濫造船ヲ輸入スルノ必要ハ毫モ認メナイノデアリマス、尙ホ拓務大臣ハ滿洲特産品ノ歐羅巴ニ輸送サレルモノハ内國船ハ一割五分、多クテ二割ニ上ラヌト云フヤウナ御話デアリマシテ、現在歐洲方面ニ廻船イタシテ居リマスル所ノ日本ノ船ト云フモノハ既ニ六十三萬噸ニ上テテ居ル、大豆ノ輸送ニ從事スル船ダケデモ三十萬噸ト云フモノハ是ガ其任ニ當テテ居リマス、之ヲ年ニ二航海半スルトスレバ七十五萬噸ト云フ船腹ガ茲ニ利用サレテ居ルノデアリマス、コレ以上日本船ガ進出シヤウトシマシタ所ガ、大豆ノ賣買ガ先程モ申シマシタ通りニ主トシテ外國人ノ手ニ收メラレテ居リマスル關係上、外國人ハ日本船ヲ利用スルコトヲ餘リ望マナイ、

ノミナラズ國際關係ガ段々悪化スルニ從テ日本船ニ向テハ或ハ「ボイコット」ノ手段ヲ取ラヌトモ限ラヌト思ヒマス、現在此方面ニ回航サレテ居ル三十萬噸ノ船舶スラモ、近キ將來ニ於テハ或ハ其運送ノ目的ヲ失フカノ虞レガアル折柄デアリマス、此上ニ滿鐵ガ十萬噸ニ上ル船舶ヲ輸入シテ此航路ニ充テルト云フコトハ實ニ無謀極クタクトデアリマシテ、海運政策ヨリ見マシテモ亦國防上何等役ニ立タナイ點カラ見マシテモ、毫モ其必要ヲ認メラレヌノデアリマス、此點ニ付キマシテハ拓務省ニ於キマシテハ尙ホ能ク調査セラレマシテ、是ガ爲ニ内地ノ沿岸ノ運賃ヲ暴落セシムルヤウナコトノナイヤウニ御努メニナラナケレバナラヌノデアリマシテ、尙ホ重ネテ承ハリタイト思ヒマスルノハ、是等ノ輸入船舶ハ將來内地沿岸ニ航海ヲシテ内地ノ海運業者ニ非常ナ迫害ヲ與ヘルト云フコトハ禁止スルト云フ御意思ヲ御持チニナッテ居ラレルノデアリマスガ、重ネテ其點ヲ承ハリタイト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 橋本サンノ御意見ハ承ハリマシテ尙ホ能ク研究シタイト思ヒマス、私共ノ調査シテ居ル數字ト違テ居ル所モゴザイマス、併シソレカラ内地ニ於キマスル海運業者ヲ保護スルト云フコ

トニ付キマシテハ、是ハ拓務省カラ彼此レ申上ゲル迄モナク遞信省ノ方ニ於キマシテ十分方法ハ講ゼラレルコトデアルト思ヒマス、又先程申上ゲマシタ内地ト滿洲トノ相互扶助ノ經濟關係ヲ確立スル點ニ於テハ政府ハ一體トナッテ十分協力スル考デアリマス

○橋本辰二郎君 御趣意ノアル所ハ承ハリマシテゴザイマスガ、ドウカ是ガ爲ニ内地ノ海運業者ハ多年ノ間苦境ニ沈淪イタシマシテ、將ニ破滅ニ瀕セントシテ居リマシタモノガ漸ク昨秋カラ爲替ノ低落ニ依リマシテ一縷ノ活路ヲ見付ケタヤウナ、此憐レムベキ海運業者ニ對シテ非常ナ打撃ヲ與ヘルヤウナコトハ國策上當然避ケナケレバナラヌコトト思ヒマス、拓務省ニ於キマシテモ特ニ其點ニ御留意ヲ願ヒタイ、尙ホ序デラ以テ伺ヒマスルガ、此問題ニ直接關係ハラリマセヌガ、遞信省ニ於キマシテハ船舶改善助成案ノ精神ニ鑑ミマシテ、古船ノ輸入ニ付テ特許制ヲ採ルト云フコトヲ計畫サレタサウデアリマスガ、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、拓務省ノ反對ニ依ッテ其實行ガ停頓ヲシタト云フコトデアリマスガ、先程モ私申上ゲタヤウニ既ニ助成案ニ國務大臣トシテ賛成サレタ所ノ拓務大臣ハ助成案ノ目的ノ達成ニ協力サレル責任アルニモ

拘ラズ、遞信省ノ採リマスル適正ナ處置ニ對シテ之ニ妨害ヲ加ヘラレルト云フコトハドウ云フ御考デアリマセウカ

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今御話ノコトハ拓務省ト遞信省トノ間ニ於テ事務的ノ相談ガ進ンデ居ルノカモ存ジマセヌガ、マダ遞信大臣ト直接御協議ヲスル域ニ達シテ居リマセヌ、併ナガラ先程申上ゲマシタヤウニ一方極ク古イ老朽シタ使用ニ堪ヘザル船ヲ優秀船ニ替ヘルト云フコトハ是ハ又一方國防上カラ言ヒマシテモ、産業上カラ、言ッテモソレハ宜イコトデ、内地ニサウ云フコトガ必要ニ應ジテ行ハレマスルト同時ニ、他方ニ於テ其優秀船ノ改造ノ爲ニ老朽船ヲ潰シテ行ッテ其爲ニ船腹ガ不足、其爲ニ海運ノ失業者ガ出來ルト云フヤウナコトヲ又他方ニ於テ補ウテ行クト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソレデサウ云フヤウナ見地カラ此問題ヲ考究シタイト思ッテ居リマス

○橋本辰二郎君 私ハ委員長ノ御注意モアリマシテ、此上質問ヲ繼續スルト云フコトハ避ケタイト思ヒマスルガ、要スルニ拓務省ニ於キマシテハ海運界ノコトニ十分通曉シテ居ラレヌカノヤウナ憾ガアリマス、又大臣ハ非常ニ人ヲ自己ノ正直ニ比シテ從

テ人ヲ信用セラレト云フヤウナ傾向ガアルノデハナカラウカト思ヒマシテ、或ハ他ニ誤ラレテ居ルヤウナ感ジモアルカノヤウニ私ハ自分一人竊ニ考ヘテ居ルノデスガ、助成案ノ如キハ國策上必要ナリトシテ拵ヘマシタル法律案デアッテ、其目的ヲ減却スルト云フヤウナコトハ當然政府ニ居ラレル一員トシテ之ヲ避ケナケレバナラヌコト思ヒマスルデ、十分ニ一ツ御考慮ヲ御願シタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ハ一應打切りマス、ソレカラ朝鮮事業公債ニ付キマシテ一寸序デニ大臣ニ御伺イタシマスガ、先ツ

是ハ順序ト致シマシテ朝鮮政府委員ニ一ツ御伺フシタイト思ヒマスガ、今度改正セラレマスル事業費補助ニ要スル經費ト云フコトガアリマスガ、是ハドウ云フ事業費ノ補助ニ充當セラレルノデアリマスカ

○政府委員(今井田清徳君) 御答イタシマスルガ、今回ノ改正ニ依リマシテ補助費トシテ支辨シマスルモノハ土地改良助成費、土地改良費ニ要スルモノデアリマス

○橋本辰二郎君 ソレガ主タルモノデスカ

○政府委員(今井田清徳君) 今回ノ改正ニ於キマシテ支辨シマスルモノハ差向キ是ダケデアリマス

○橋本辰二郎君 是ハ新規ニ補助セラレレル

ノデアリマスカ、過去ニ於テ既ニ補助シ來タモノデアリマスカ

○政府委員(今井田清徳君) 土地改良助成費ハ既ニ多年一般財源カラ補助ヲ致シテ參ッタモノデアリマス、財源ノ關係上其一部分ヲ八年度ニ於キマシテ公債財源ニ仰ギタイト云フコトデ此改正案ヲ出シタ次第デアリマス

○橋本辰二郎君 從來公債財源ニ此經費ヲ仰イダコトハナイノデゴザイマスカ

○政府委員(今井田清徳君) 從來ハ仰イダコトハアリマセス

○橋本辰二郎君 新タニ起ス事業費デアレバ公債ニ仰グト云フノハ當然デアリマスガ、從來過去ニ於テ補助シテ居ル所ノ補助費ヲ公債ニ仰グト云フノハ、ドウモオカシイヤウニ思ヒマスルガ、拓務大臣ハ之ニ同意ヲ與ヘラレタノデアリマスカ

○國務大臣(永井柳太郎君) 同意ヲ與ヘタノデアリマス、ソレデ一應其理由ヲ申上ゲタイト存ジマス、從來公債財源ニ依ラナイコトデ補助ヲシテ參リマシタノヲ、今度公債財源ニ一部分ナリトモ依リマス云フコトハ、實ハ甚ダ不本意ナコトデアリマス、ケレドモ御承知ノ通りニ最近ノ財界ノ不況

其他ノ爲ニ、朝鮮總督府ノ歳入ハ非常ニ減ジ

タノデゴザイマス、デ八年度ノ歳入ヲ昭和七年度ノ歳入ニ較ベテ見マスト激減シテ居ルノデゴザイマス、昭和七年度ノ所謂施行豫算ニ較ベテ見マスと、租稅收入ガ約百二十萬圓減ジテ居リマス、ソレカラ官業及官有財産ノ收入ガ二千百萬圓減ジテ居リマス、ソレカラ前年度ノ剩餘金ノ繰入ガ矢張り四百萬圓ホド減ジテ居リマシテ、其爲ニ朝鮮總督府ノ歳入ハ非常ニ減ジタノデアリマシテ、一方歳出ノ方モ出來ルダケ節減ヲ致シマシタ、併ナガラ此土地改良ノ事業ハ之ヲ中絶イタシマスルト云フト、失業者ヲ出スト云フ危險ガ又伴フノデ、ソコデ失業者ヲ出サザル程度ニ出來ルダケ之ヲ縮小イタシマシタガ、ソレデモ八年度ハ約四百六十萬圓程ノ經費ヲ必要トスルノデゴザイマス、其中普通ノ財源ニ依ッテ支拂シ得ルモノガ三百七十六萬圓程ニナリマス、ドウシテモ約九十萬圓程ノ不足ガ出テ來ルノデゴザイマス、ソコデ其約九十萬圓程ノ分ダケヲ八年度ハ公債財源デ補ヒマシテ、ソレヲ出來ルダケ早イ機會ニ又普通財源ニ歸リタイ、斯ウ云フヤウナ方針デ今年度ダケハ約九十萬圓ダケヲ公債財源ニ依ルコトニ同意イタシタノデアリマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマス拓務大臣

ニ於キマシテモ、今回ノ其法律案ナルモノハ變則デアッテ、一時的ノモノデアッテ、將來財政ガ改善セラレタナラバ常道ニ復歸スルト云フ御意嚮デアアルノデスネ

○國務大臣(永井柳太郎君) 其通りニ存ジマス

○橋本辰二郎君 宜シウゴザイマス

○田村新吉君 昭和八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ承リタイト思フノデアリマス、第一條ニ掲ゲラレマシタ金額、之ヲ公債ニ依ル、發行價格及ビ利子ノ豫定額ハ何程デアリマスカ

○政府委員(藤井真信君) 本年ノ財源補填ノ爲ニ發行イタシマス公債ノ發行價格ハ其時ノ事情ニ依ッテ定メルコトデアリマシテ、只今世發行價格ヲ幾ラト豫定イタシテ居ルト云フコトヲ申上ゲルコトハ甚ダ困難デアルト存ジマス、利子ニ付キマシテハ、從來公債ノ利子ヲ五分トシテ豫算ラシテ居ッタノデアリマシテ、八年度ノ豫算ニ於キマシテハ、利率ハ、豫算ハ從來通り五分トシテ計算ヲ致シテアリマス、併シ實際之ヲ發行イタシマス場合ニ於キマシテハ、其時ノ金融狀況ニ應ジマシテ適當ナル利子ガ考ヘラレノデアリマスガ、豫算ニ計上イタシテ

タノデアリマス

○橋本辰二郎君

タノデアリマス

○橋本辰二郎君

居リマスモノハ、從來通り五分デ計算ヲ致シテアリマス

○田村新吉君 第二條ノ末文ニ「前條ノ制限額ヲ超ユルコトヲ得ズ」トアリマスノハ、即チ前條ノ金額六億五千九百五十萬圓ヲ超過セズトノ意ニ解シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(藤井真信君) 左様デアリマス、第一條ニ於キマシテ、發行額ノ限度ヲ六億五千九百五十萬圓ト致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ過日此法案ノ趣旨ノ大要ヲ御説明申上ゲマシタ時分ニ簡單ニ申上ゲタカト存ズルノデアリマスガ、此公債ヲ以テ支辨セント致シテ居リマス歳出ノ一部ガ翌年度ニ繰越サレルコトガアリ得ル譯デアリマシテ、普通ノ状態デハ矢張り翌年度ニ繰越サレルコトガアルノデアリマスカラ、若シ歳出ガ翌年度ニ繰越サレルト云フコトニナリマスレバ、八年度ニ其財源タル公債ヲ發行セヌデモ、九年度ニナツテ歳出ガ出ルノダカラ、九年度デ其財源タル公債ヲ發行シテモ宜シイガ、併シ其總額ハ今日ノ所六億五千九百五十萬圓ト限ッテ居ルノデアリマスカラ、八年度デ發行イタシマシタモノト、只今申上ゲマシタ事情ニ依リマシテ翌年度ニ繰越シテ發行イタシマシタモノト變

方合シテ、六億四千九百五十萬圓ノ限度ヲ超エテハナラヌ、左様ニ法律デ限定イタシタ譯デアリマス

○橋本辰二郎君 第三條ノ中ニ「價格差減額ヲ補填スル」……此差減補填額ニ限り公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得ト解シテ宜シイノデアリマスカ、限り……

○政府委員(藤井真信君) 此法律ニ依リマシテ政府ガ得ントスル權能ハ歳出六億五千九百五十萬圓ヲ支辨スルダケノ財源ヲ得タイト云フノガ本案ノ趣旨デアリマス、所ガ先刻御尋ガアリマシタガ、經濟界ノ狀況如何ニ依リマシテハ、發行イタシマス時ニ額面額デ發行スルコトガ出來マセヌデ、一部分差減ノ生ズル場合モアリ得ルノデアリマシテ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、六億五千九百五十萬圓ノ額面ヲ發行イタシタダケデハ、必要ナ財源ヲ得ルコトガ出來マセヌノデ、其差減額ヲ補填スルダケノ、必要ナ場合ニ於キマシテハ、其差減額ノ限度ニ於テ發行イタシテ、結局六億五千九百五十萬圓ノ財源ヲ得ルコトニ致シタイト云フノガ、此規定ヲ提案ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 田村委員カラモ御伺イタシマシタガ、發行價額ニ付キマシテハ、其發行當時ニ於ケル金融界ノ狀勢ニ依ッテ定メラレルノガ當然デアリマスルガ、發案ヲセラル、以上ハ、之ニ付テノ一定ノ腹案ガナケレバナラヌト思ヒマスガ、其腹案ハドノ程度ニ置イテ居ラレルノデアリマスカ

○政府委員(藤井真信君) 一應ハ御尤ノ御意見デアアルカト存ジマスガ、政府ガ財源補填ノ爲ニ公債ヲ發行スル必要ヲ感ジマシテ、茲ニ此法律案ノ御協賛ヲ願ッテ居ルノデアリマスガ、斯カル法律案ヲ出ス以上ハ發行價額ヲ幾ラデ出ス積リデアアルカ、腹案ヲ持タネバナラヌ筈デハナイカト云フ仰セデアリマスガ、是ハ今後八年度ノ豫算ヲ實行スルニ當リマシテ、必要ニ應ジテ發行シテ參ル公債デアリマシテ、今日ヨリ八年度ニ發行スル公債ノ價額ヲ幾ラデ出スト云フコトヲ豫定イタスコトハ、甚ダ困難ナ事情ニアルト考ヘテ居リマスノデ、從ッテ只今ノ其發行價額ヲ幾ラト豫定ハ致シテ居ナイノデアリマス

○橋本辰二郎君 ソレデハモウツ裏カラ聽キマスガ、此公債發行ニ付テノ格差金ノ金額ハドノ位ノ御見込デアリマスカ

○政府委員(藤井真信君) 發行價額ノ差減ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、只今豫定ハ致シテ居ナイノデアリマス、若シ差減

ガ生ジマシタナラバ、其差減ヲ補填スル限度ニ於テ公債ヲ發行シ得ルヤウナ權能ヲ得タイト云フノデ、此第三條ガ規定サレテ居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 私ハ公債發行ノ限度其他ニ關シマシテ大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマスカラ、大臣ノ出席ヲ御要求ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(男爵四條隆英君) 只今本會議ノ方ニ出テ居ラレマシテ、チヨット只今出ラレヌト云フコトデアリマス、他ノ機會デハイケマセヌカ

○橋本辰二郎君 此委員會ハマダ今後續行セラルル御豫定デゴザイマスカ

○委員長(男爵四條隆英君) マダ今日デハ到底濟ムマイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 ソレデハ此次ノ開會ノ機會ニ於キマシテ御出席ヲ仰ギタイト思ヒマス

○委員長(男爵四條隆英君) 左様ニ取計ヒマス……チヨット御諮り申上ゲマスガ、尙ホ外ニ御質問ガナケレバ、本日ハ此程度デ質疑ヲ止メマシテ次回ニ讓ルコトニ致シタイト思ヒマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(男爵四條隆英君) 御異議ナケレ

バ左様取計ヒマス、本日ハ是テ散會イタシ
マス、次ノ開會日ハ追テ御通知ヲ申上ゲル
コトニ致シマス

午後三時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵四條 隆英君
副委員長 子爵織田 信恒君
委員 公爵伊藤 博精君
子爵舟橋 清賢君
橋本圭三郎君
田村 新吉君
橋本辰二郎君

國務大臣

拓務大臣 永井柳太郎君

政府委員

大藏省主計局長 藤井 真信君
大藏書記官 賀屋 興宜君
拓務政務次官 堤 康次郎君
拓務省殖産局長 北島謙次郎君
朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君
朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君
關東廳財務局長 西山 左内君
樺太廳長官 今村 武志君

貴族院造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新
營費ニ關スル法律案特別委員會議事速
記録第二號正誤

頁 誤 正

昭和八年度一
般會計歳出ノ
財源ニ充ツル
昭和七年法律
第六號中改正
關スル法律案

一三一三一四

昭和八年三月八日印刷

昭和八年三月八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局